

# らしんばん

## 議会報告

令和4年2月議会号



発行日 / 令和4年3月31日

発行：静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所

目次	ハイライト	P1
	1. 県議会2月定例会開催(概要説明)	P1
	2. 常任委員会(建設委員会)の論戦から	P2
	3. 2月定例会一般質問登壇(質問の要旨)	P2・3
	4. 脱炭素社会推進特別委員会からの提言	P3
	5. 高校生とのオンライン会議(県立韭山高校)	P4
	6. 視察・研究報告、国へ提出される意見書	P4
	7. 地域の課題と進捗状況、ホットなつぶやき	P4

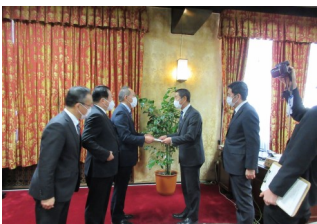
### ハイライト



当局の令和4年度当初予算編成案の説明に対し、県民からの要望をどれだけ盛り込んだかを、担当者に確認。



一般質問に登壇。この1年間、多くの県民の皆様から寄せられた課題や要望を絞り込み、当局を質す。



県議会に設置された脱炭素社会推進特別委員会の委員長として審議内容を提言にまとめ、議長に提出。



県議会の広報活動の一環として、県議会を代表し、県立韭山高校生とオンライン会議を実施。



元ラグビー選手の五郎丸歩氏と県内で開催されたラグビーワールドカップ2019の日本チームの活躍を振り返る。



3月19、20日、日本ロードレース史上初の3団体クリテリウム「富士山サイクルロードレース」が富士市で開催。

## 1. 県議会2月定例会開催(概要説明) 【2月18日～3月17日まで】

議案内容は、令和4年度当初予算（一般会計の歳出予算総額は1兆3,644億円で、前年度当初予算を550億円、4.2%を上回る）や特別会計・企業会計等をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策や熱海市伊豆山地区の土砂災害を契機とした盛り土に関する条例制定、令和4年度から始まる次期総合計画（後期アクションプラン）への意見集約、国へ提出する意見書の審議など、また、「まん延防止等重点措置」の延長に伴う医療や介護、福祉、経済に与える様々な影響に対する支援策が随時盛り込まれ、かつてない多忙な定例会となりました。

特筆すべき審議項目に、令和4年度一般会計の修正案が議会側から提示され、賛成多数で可決しました。私が県議になってから修正案が採択されたのは2回目となります。

今回の修正案は、非常勤特別職2名（職名は特別補佐官および戦略監で知事の補佐を担当）の職務実態が、地方公務員法に照らし非常勤特別職として任用し続けることに対し疑義があることによる減額と、同じく非常勤特別職1名（職名は対外関係補佐官）について県民生活に直結した必要性が乏しい一方で職務実績に比して報酬が課題であり、県民の理解が得がたいと判断したことが理由です。

地方公務員法では、「専門的な知識経験または識見を有する者がつく職であって、当該知識経験者または識見に基づき、助言、調査、診断その他総務省令で定める事務を行う者に限る」とあります。

改正の理由は、本来、「守秘義務」、「職務専念義務」、「上司の職務上の命令に従う義務」などの服務等の規定が適用されるべき者が、特別職非常勤職員の「嘱託員」等として任用され、機密保持等の面で問題が生じていたことを踏まえたもので、先に触れた「専門的な知識経験または識見」、「当該知識経験に基づき事務を行う」、「事務の種類は助言、調査、診断または総務省令に定める事務」の全てに該当する職に限定されました。

今回、本県の特別職3名は、これらの条件に当てはまらないとの判断から、令和4年当初予算から削除し、修正を加えることを議決したものです。

非常勤特別職の2名は、県の職員のOBでもあり、現役時代からの仕事に対する取り組み、評価は高いと理解しています。しかし、非常勤特別職として任用するからには、その規定に基づくことはもちろんのこと、県民にとって透明性があり理解される内容でなければなりません。それが怠っていたことに議会としての厳しい判断を下したものと理解しています。修正額は知事直轄組織費（2名）で20,854,000円、経営管理費（1名）で13,620,000円がそれぞれ減額となります。

知事は、議会の決定を受けて、3人の非常勤特別職についての「再議」は行わず、今期での任用を終えることとなります。

今年度は、県議会建設委員会・議会運営委員会・脱炭素社会推進特別委員会委員長 党県広報委員長に就任

## 2. 常任委員会(建設委員会)の論戦から(質問項目概要)



### ●令和4年度当初予算について

#### (1) 総括

- ①交通基盤部の令和4年度一般会計当初予算の概要や特徴について
  - ②令和4年度の主要事業や新たな取組
- (2) 公共交通機関の確保とあるが、廃止路線が依然として増加している中、更なる行政支援が必要と考えるが、具体的な方策は
  - (3) 沼津駅周辺総合整備事業費について
  - (4) 三次元データの活用や公共施設台帳に関するDX推進関連事業費について

### ●今年度実施した通学路合同点検で抽出された道路管理者が行う安全対策の実施状況

### ●緊急交通安全対策(区画線再設置)

### ●県土強靱化対策事業費について

- (1) 県土強靱化対策事業(道路)の取組内容について
- (2) 県土強靱化対策事業費(港湾)
- (3) 田子の浦港のクリーン宣言(仮称)の意義と活用について

### ●入札・契約制度の改善について

(一般質問をさらに踏み込んで)

### ●土砂災害の危険性を周知する取組について

### ●静岡県盛土等の規制に関する条例について

- (1) 国の盛土に関する法律の内容について
- (2) この法律と本定例会で審議中の「静岡県盛土等の規制に関する条例」との違いについて
- (3) この法律が施行された場合、法律と条例(県・市町)の関係について

### ●新条例と現在行われている盛土等の行為について

- (1) 現行の土採取等規制条例に基づく届出がされている盛土等について、新条例施行後はどのような扱いになるのか
- (2) 新条例には土砂基準が新たに盛り込まれたが、その適用について
- (3) 過去に行われた違法な盛土等について新条例がどのように機能していくのか

### ●【総合戦略の評価】交通基盤部が所管する指標の進捗状況について(総括)



私のホームページ上のブログで

3月16日～24日間に、建設委員会で  
の質疑・答弁概要をお伝えしていますので、  
そちらを合わせてご覧ください。

鈴木すみよしブログ 検索 🔍

## 3. 2月定例会一般質問登壇(質問の要旨)



一般質問のために、自席から本会議場中央演壇へ登壇。



これまで温めきた県政の喫緊の課題について、当局を質す。

### ●関係人口の拡大による地域づくり活動の活性化について

今年度のモデル事業の取組をどのように評価し、関係人口の拡大による地域づくり活動の活性化に向けて、今後どのように取り組んでいくのか。

既に県内の一部で取り組んでいる地域づくり団体や中間支援組織などには関係人口の拡大に必要なアイデアがあり、また、市町においても様々な課題があると想定しているが、これらをどのように活かし、支援策につなげていくのか。

### ●SDGs関連施策の推進について

### (1) 実効性のある新たな地球温暖化対策

2030年度の目標達成に向け、県がこれまでの温暖化対策をどのように総括し、何が課題であると認識しているのか。さらに、それを今後の温暖化対策にどのように活かしていくのか。静岡県として特色ある今後の取組は何か。また、2030年の削減目標に向けて、県内市町との連携に関して県の果たす役割について。

### (2) 県産材製品の利用拡大

2050年までにカーボンニュートラルの実現が社会の重要なテーマとして認知され、森林が持つ二酸化炭素の吸収源としての機能とともに、木材が持つ、建築物に利用することによる炭素貯蔵効果や、化石燃料の代替として利用することによる炭素排出量の削減効果の発揮などが一層求められている。住宅分野において、どのように県産材利用を促進していくのか。

### ●医師少数区域の医師不足に対する県の支援策について

医師少数区域における現実的な状況を踏まえ、キャリア形成プログラムの効果が出るまでの間に

必要となる対策や、今後の医学修学研修資金の返還免除対象となる医療機関の拡充などをどのように進めていくのか。

#### ●ふじのくにCNFプロジェクトにおける諸課題について

##### (1) 寄附講座の成果と今後の人材育成の強化

これまでの（寄附講座の）成果について。人材育成についても、大学院や社会人を対象とする以外にも、企業が求める大学生に更に広げるため、積極的に議論を進めるべきではないかと考えるが、県の所見を。

##### (2) 産官学連携の強化

CNFプロジェクト推進のためにも県としての意見を国や大学に伝えるなど、県にも積極的に関わって欲しいと考えているが、これらに関する取組状況について。

#### ●建設産業における担い手確保、育成のための「働き方改革」支援について

令和6年4月以降は罰則が適用されることから早期に現状を確認し、対策を講じる必要があると考えるが、県はどのように関わっていくのか。

#### ●東駿河湾工業用水道及び富士川工業用水道の統合後の更なる効率的な運用について

事業統合後の「ふじさん工業用水道」においてもあらゆる可能性を排除せず、更なる効率的な運用のため、官民連携手法の導入についても検討していくべきであると考えているが、企業局としてどのように考えているのか。



私のホームページ上のブログで

3月3日～9日間に、一般質問の質疑・答弁概要をお伝えしていますので、そちらを合わせてご覧ください。

鈴木すみよしブログ 検索 🔍

## 4. 脱炭素社会推進特別委員会の提言(委員長として)

今年度、静岡県議会に設置された脱炭素社会推進特別委員会の全日程（6回開催）が終了しました。委員長として提言書のとりまとめまで到達できたことは感無量です。



特別委員会での審議内容を提言書として議長に提出。

報告書案は全体で36ページに及び、その内、提言案は8ページとなっています。

構成は、最初に「調査の概要」、「委員会の運営方針」、「調査の観点」を記載し、その次は、「静岡県関係部局の取組状況」、「参考人からの意見聴取の概要」、そして「提言」となります。

数回に分けて実施した「参考人からの意見聴取の概要」、そして「提言」となります。



特別委員会の活動状況や提言書の内容を議長に説明。

提言は大きく6項目にわたり、「脱炭素社会の実現に向けた機運の醸成」、「省エネルギーの推進」、「再生可能エネルギーの普及促進」、「地域交通の脱炭素化」、「カーボンニュートラルに向けた取組」、「企業への支援」です。

昨年度、私が会派の政務調査会長の時に、次年度の県議会特別委員会のテーマを検討していた際、政府が明確な脱炭素社会の実現を目指すための方針を打ち出し、これを受けて令和3年

度2月定例会の私の代表質問において、脱炭素社会構築のための本県の覚悟を知事に求めた際に、「静岡県として2050年までの脱炭素宣言」を表明しました。また、本県の次期総合計画（後期アクションプラン）の新たな施策の柱として設定されたこと。それらを背景として、県が「次期地球温暖化対策実行計画」を令和3年度末までに策定することを決定し、県議会としても独自の調査および検討するための特別委員会を設置し、その結果をとりまとめて提言することを目的として進めてきたものです。

地球温暖化対策は2000年頃から始まった大きな課題です。しかし、これまでもその対策は少しずつ進められてきましたが、温暖化の原因となる温室効果ガスの削減は一向に減らすことができません。世界中でこれを原因とする気候変動による自然災害なども増え、いつまでに脱炭素化を実現するか、明確な設定を設け、世界中の国々の参加による実効性のある取組を加速させることが求められています。

特別委員会では、これまでの取組と何が違うのか、どう県民の理解と協力を得るのか、これまでの課題にメスを入れ、効果的な取組を実現するために取り組んできました。

私は静岡県らしい取組を明確にしたかったのですが、その思いは一部盛り込まれているものの、まだ十分ではなかったことを少し反省しています。県は今後3年間、提言内容に基づき、どう施策として取り組んだのか、報告することになっており、その結果を見ながら、一議員として静岡県らしい取組となるよう、今後も注視していくつもりです。

## 5. 高校生とのオンライン会議(県立韮山高校)

新型コロナウイルス感染症の影響で、静岡県議会の広報活動の一つである、高校生との直接対話による意見交換会



がオンラインで実施されました。この事業は静岡県議会が、若者にも手に取ってもらえる県議会だよりの紙面づくりのため、新たな取り組みとして、高校生が制作した記事を掲載することになりました。

記事制作の参考とするため、県議会や県政への理解を深めることが目的で実施しました。

参加していただいたのは、静岡県立韮山高等学校写真報道探究部の9名で、令和3年度に全国高等学校総合文化祭に出場した学校のうちから、静岡県高等学校文化連盟から推薦を受け決定しました。静岡県議会からは、議会を代表して私とほか2名の計3名の議員が参加しました。

今回の意見交換では、高校生が課題や疑問に思うことを題材とし、大学入試制度の変革やコロナ禍における社会情勢の変化など、現在の高校生が不安に感じていることや、今後の高校教育はどう変わっていくのか、予想される課題と解決策などについて意見交換しました。

具体的には、ICTの導入、活用について。学校の統廃合について。学校のバリアフリーについて。大都市と比較した教育格差について等に質問が集中しました。

参加した議会代表3人の議員からは、それぞれのテーマについて、県政としての現状の取組や課題と今後の方向性などについてのほか、議員各自が持つ見識や経験などを紹介しながら意見を述べました。生徒達からは、議員が述べた内容についてさらに踏み込んだ質問も出て、議会の存在意義

### ◆2月議会で決定した国へ提出される意見書

- ① ウィズ・アフターコロナの切れ目ない観光業支援に関する意見書
- ② 医師少数県における医師の働き方改革に関する意見書
- ③ エシカル消費の啓発及び促進に関する意見書
- ④ 子供のアドボケート制度の早期確立を求める意見書
- ⑤ 介護職員等の処遇改善に関する意見書

このほか、「ロシア連邦のウクライナへの軍事侵攻を非難する決議」も採択されました。

### ♥ホットなつばやき

2年続きの新型コロナウイルス感染症。2月定例会開催中は「まん延防止等重点措置」が発令され、この1年間も一堂に会した会議等ができず、また現場に入ることも限られ、皆様の生の声を聴く機会が少ない年でした。オンライン会議とはいうものの、次年度こそは外に出かけることができますように。

### 県政相談窓口 ♥お気軽にどうぞ!

地域の課題、道路・河川等の整備等についてのご相談窓口です。ご相談いただいた内容については、必要に応じ関係機関と調整しますが、内容に応じてお時間がかかることもありますので、ご容赦下さい。

が少しは伝わったのではないかと期待しています。

まとめでは、生徒代表から自分たちが想像していた以上の成果が得られたと評価していただきましたが、私たちも久しぶりに心地よい緊張感と、若者の特に高校生の考えを直接聞くことができたことは大きな成果でした。

2月定例会の県議会だよりに、彼らがどのような記事を書いて掲載されるのか、楽しみにしています。

## 6. 議会外の視察・研究報告



新々富士川橋は中央部を残してほぼ全貌が見えてきた。令和5年度に供用開始へ。関わって10年の歳月が経過。



1月15日の夜半、8000km離れたトンガ付近で海底火山噴火が発生。県内にも津波が押し寄せた。自然の猛威に驚く。

## 7. 地域の課題と進捗状況 (各地の要望等から)



沼川沿い、日本製紙北側県道の歩道整備が次年度実施決定。通勤通学利用者が多く、要望活動が実った。



日本三大だるま市の毘沙門天祭は、新型コロナウイルス感染症の影響により規模縮小で実施。観光面で打撃。



岳南富士岡駅で開催された岳南電車まつり。ローカル鉄道存続のため、主催するボランティアの活躍に感謝。



市内で活躍する、農林水産業関係者の表彰式に出席。1次産業が見直される中、技術継承と担い手確保に期待。

発行者: 静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所

「県政相談窓口」および「らしんばん」連絡先

静岡県富士市比奈1418番地の2〒417-0847

☎ 0545-34-0683 FAX.0545-38-0070

メールアドレス himena@tokai.or.jp

ホームページ <http://sumiyoshi.info/>

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/sumiyoshi1956/>

